



凡例

輪郭構造
 滑落層と側方崖
 新鮮または開析されていない冠頂をもつ滑落層
 部分的に開析されている冠頂をもつ滑落層
 冠頂が著しく開析された滑落層
 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落層
 開析されて無くなってしまった冠頂・滑落層の推定復元位置
 共通の冠頂をもち、互いに反対方向に向く滑落層
 中・緩斜の流れ整すべり面が地表に露出し、滑落層にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。
 後方崖、多重線等
移動体の輪郭・境界
 後方に滑落層があり、移動体の輪郭が明瞭なし判定可能
 後方の滑落層は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難
 滑落層はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している
 ほかの移動体や堆積物におおわれた部分
 斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘
内部構造
 二次・小滑落層、崩壊の開始程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
 サブユニットの境界、内
 移動体内の小尾根
 幅の広い溝状凹地、亀裂
 幅の狭い溝状凹地、亀裂
 雁行亀裂
 線状窪地・小谷底線
 一は谷の出口または谷底の傾斜方向
 池
 水のない窪地
 陥陸地の前線
移動方向等
 移動体の主移動方向
 すべり
 クリープ(匍行)
 流れ・押し出し
 落石など
 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向
その他
 濃急線
 活断層(地すべりを定位置させている顕著な断層)
 地層面等および節理・断層の走向・傾斜

行政区画 索引図

1	2	3	4
5	6	7	8

神奈川県
 1. 藤沢市 2. 鎌倉市 3. 横浜市 4. 逗子市
 5. 三浦郡 6. 横須賀市 7. 三浦市
 千葉県
 8. 富津市

()内は所属20万分1地勢図名

1:50,000 横須賀

調査者 井口 隆・清水文健・大八木規夫
 by Takashi INOKUCHI, Fumitake SHIMIZU and Norio OYAGI
 LM-369

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平15開補、第 6 5 8 号)」